

ネパール支援活動に



義援金を手渡す渡辺さん（左から2人目）と防災用品を託す高木専務（左端）

総社の男性、倉敷の会社

AMDAへ義援金、防災具

ネパール大地震の被災者を支援しようと26日、元総社市議の渡辺 繁雄さん(73)が義援金100万円、ジーンズ縫製の高

木ソーイング（倉敷市横1・8の県産デニ下津井吹上）が防災用品30セットを国際医療ボランティアAMDA（岡山市北区伊福町）に贈った。AMDAはネパールでの支援活動に役立つ。

AMDA本部で贈呈式があり、渡辺さんと同社の高木秀史専務（44）が成沢貴子理事長に託した。渡辺さんは「ささやかな気持ちだけでも届けたい」、高木専務は「少しでも現地で役立つ」と話した。ある」と課題を指摘し

防災用品は縦2式に先立ち、AMDAグループの菅波茂代表がネパールでの支援活動について報告。被災者の術後のリハビリや精神面のケアなどを強化していく必要性を訴えるとともに「山崩れで道路がふさがれ、支援が届かない地域も